

○本校のミッション(使命、存在意義)

- ◇ 確かな自己肯定感を持った児童育成のため、「知」「徳」「体」のバランスのとれた教育の推進をする。
- ◇ 地域とつながる学校づくりに努める。
- ◇ 時代の変化に適応した教育を展開し、未来を生き抜くことのできる児童を育成する。
- ◇ こ小中高連携を推進し中学校区で15年間を見通した教育を推進する。

○学校内外の環境分析

【内部環境】

- ・ 明るく屈託のない児童が多く、休み時間には外で元気に遊ぶことができる。
- ・ 体験的・協働的な活動を好み、力を合わせて課題解決することができる。
- ・ 落ち着いた環境で学習できる。
- ・ 自己肯定感・非認知能力の育成が充分でなく、学びや集団生活に不安がある児童が少なくない。
- ・ 個別支援を必要とする児童が多い。こども園や関係機関と連携した支援システムを活用できる。
- ・ 家庭支援や保護者支援を必要とする児童が多い。
- ・ 教職員は若年層が増加しOJTの推進が必要である。

【外部環境】

- ・ 湯郷温泉を始め、地域学習教材に恵まれ、四季の変化を体感できる自然豊かな学習環境がある。
- ・ 地域、保護者の方は学校教育に大変協力的である。学校支援地域本部事業(H 24年～)等により、様々な支援をいただいている。子どもとの交流活動によって豊かな心を育成できる。
- ・ 湯郷こども園・美作中学校が近くにあり、こ小中の連携が図りやすい。

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校のビジョン(将来像、目指す姿)

【学校教育目標】 心豊かな誇りを持ち心豊かでたくましく生きる児童の育成

【スローガン】 「笑顔いっぱい、夢いっぱい ～ともに学び、ともに歩む～」

【重点目標】 学力＝「自ら学ぶ力」の育成 [知]
自己肯定感・非認知能力の育成 [徳]
心身の健康と安全を大切にする児童の育成 [体]

【教職員像】 ・児童・保護者・地域・同僚を尊重し、協働する教職員
・成長し続けようとする教職員

○当該年度の具体的な学校経営目標(R 6キーワード)・計画
全ての児童が、「楽しい」と感じる学校

1 学力＝「自ら学ぶ力」の育成(授業改善)

- ①「主体的な学び」(心が動く授業)に重点を置いた授業改善(学びのきっかけ)
- ②ふり返りを重視し自らの成長をメタ認知することを通じた基礎的知識・技能の定着
- ③学習を利活用する場面の創造
- ④本に触れる機会を増やす取組(探究・読書・資料活用)
- ⑤家庭学習と学校教育の連携

2 自己肯定感・非認知能力の育成

- ①児童が中心となる学校運営(自治・特別活動の見直し)
- ②表現(アウトプット)する経験値の重視と評価のフィードバック 社会とのつながり
- ③体験活動を生かした道徳教育
- ④児童理解のための研修、情報交換 積極的な生徒指導(長欠・不登校への対応)

3 心身の健康と安全を大切にする児童の育成(体育・保健安全・栄養指導)

- ①運動への親しみ、楽しさの体験
- ②自己の生活を見つめ、心身ともに健康な生活を送ろうとする態度の育成
- ③食生活・睡眠への意識改革と見直し

4 チャレンジする教職員(つながり)

- ①研修、自己研鑽、自己変革 教育現場のDX(ICT教育)の推進
- ②保護者との良好な人間関係づくり

5 家庭・地域連携(コミュニティ・スクール)

- ①家庭教育の充実を図る
- ②学校教育への家庭・地域の参画を促す

6 学校安全(命)

- ①児童・職員の生命を守る
- ②災害・事故・事件の予防と対応